

山東横浜橡膠工業製品有限公司 CSRレポート

事業内容: コンベアベルトおよび関連製品の生産・販売
敷地面積: 50,000m²
従業員数: 367人(2010年4月30日現在)
所在地: Xinzhai, Local Town, Ling Country, Weifang City Shangdong Province, China
 TEL: +86-536-334-2598



社長ご挨拶



齋藤 知二

当社は2006年1月に山東躍馬膠帶有限公司と横浜ゴム(中国)有限公司の合併会社として中国山東省のほぼ中央、青島市から車で3時間の臨朐県に設立された、コンベアベルトの製造販売会社です。最近では中国も環境対策に関心を持つ企業が増加し、中国市場において新商品となる環境貢献ベルトを生産販売できる数少ない会社として、当社の注目度もアップしつつあります。また、地域の中では日系合併企業として最新鋭の会社と位置づけられ、政府関係者の視察も頻繁に実施される注目度の高い会社と感じています。

そのため、環境に対する取り組みについても、この地域の代表企業としてリード役を果たしていく責任があり、2009年の4月に認証取得したISO14001の管理システムを活用し、環境負荷の低減に積極的に取り組んでいます。また、2011年度の第1回植樹会に向けて、「千年の杜」プロジェクトを進めています。これからも、地域社会に貢献するトップレベルの環境貢献企業を目指します。

また、環境だけでなく、品質や労働安全衛生についても、ISO9001、OHSAS18001の内部審査を実施後、システム監督審査を受審(認証継続審査)。継続的に改善を図っています。

環境への取り組み

2010年度環境方針

- (1) 環境経営を持続的に改善するために、会社内の全員がすべての活動分野において、環境マネジメントシステムに則り、維持、改善に取り組む。
- (2) 「ものづくりにより」社会に貢献し、中国内においても、「環境に貢献する改善」と「環境リスクの予防」を継続的に計画、遂行する。
- (3) 関係する環境法令、その他契約事項を遵守し、環境保護に取り組む。
- (4) 全経営活動でエネルギーを節約、廃発生量を減少、再利用活動を推進し、環境負荷の低減に取り組む。
- (5) 全従業員が、本方針を理解し行動するように、教育と啓蒙を行い周知徹底する。
- (6) 地元臨朐県の自然との調和・融合、コミュニケーションに努め、積極的に植樹活動を推進すると共に、地域社会の発展と環境に貢献する。

環境データ (年度は1月～12月)

項目	2008年度	2009年度
廃棄物発生量(t)	681	639
埋立率(%)	0	0
エネルギー使用量 (原油換算:千kl)	電力	1.19
	燃料	3.24
	合計	4.42
温室効果ガス排出量(千t-CO ₂)	13.5	13.9
水使用量(千m ³)	—	—
有機溶剤排出量(t)	108	94

※2009年度の温室効果ガス排出量の算定は、日本の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用。

安全への取り組み

2010年度安全方針

- (1) 全従業員の一人ひとりが、安全を全てに優先させ完全ゼロ災害に向け安全活動の向上を図る。
- (2) 職場の一人ひとりは、安全作業標準を確実に守り、安全に徹した作業を行う。
- (3) 管理監督者は安全教育訓練による安全意識の向上を図り、安全な人づくりの活動を推進する。
- (4) 管理監督者はリスクアセスメント、安全パトロールによる安全な設備作りの活動を推進する。
- (5) 安全衛生に係わる法令、行政指針を遵守する。
- (6) 労働安全衛生マネジメントシステム(OHSAS)により、継続的なリスク低減を図る。
- (7) 快適な職場環境作りを推進すると共に、従業員の健康作りを積極的に支援する。

2009年度の取り組み

OHSAS18001の内部監査実施により、意識の向上を図っています。また、外部よりシステム継続審査を受審し合格しました。

2009年度にいただいたご意見

2009年度に寄せられたご意見は、特にありませんでした。

社会貢献

2010年6月、臨朐県身体障害者団体へ寄付をしました。

企業活動への顕彰

2010年1月、企業活動が評価され、2年連続臨朐県政府より「2009年度優秀企業」をいただきました。



2010年の3月には「千年の杜」活動の一環として宮脇先生の植樹指導を直接受け、2011年に実施予定の第1回植樹会に向けた準備を進めています。



宮脇先生からの植樹指導



第一回植樹会に向けて苗づくりの準備

